

## 【産業成長戦略】 成果目標の進捗状況

令和6年11月

### ◇今後10年間で人口の社会増減をプラスに回復させる

(現状：平成15年～平成24年(年平均)の社会増減 ▲890人)

○進捗状況：

平成25年	▲999人	[「香川県人口移動調査(平成25年分)」から]
平成26年	▲725人	[「香川県人口移動調査(平成26年分)」から]
平成27年	481人	[「香川県人口移動調査(平成27年分)」から]
平成28年	▲6人	[「香川県人口移動調査(平成28年分)」から]
平成29年	▲76人	[「香川県人口移動調査(平成29年分)」から]
平成30年	▲655人	[「香川県人口移動調査(平成30年分)」から]
令和元年	▲539人	[「香川県人口移動調査(令和元年分)」から]
令和2年	▲1,381人	[「香川県人口移動調査(令和2年分)」から]
令和3年	▲2,969人	[「香川県人口移動調査(令和3年分)」から]
令和4年	▲430人	[「香川県人口移動調査(令和4年分)」から]

### ◇今後10年間の平均名目経済成長率を全国平均より高い水準にする

(現状：平成12年度～平成21年度(年平均) 県▲0.5%、全国▲0.6%)

○進捗状況

	県	全国
平成12年度～平成21年度 (年平均)	▲0.5%	▲0.6%
平成22年度	▲1.9%	1.1%
平成23年度	3.9%	0.9%
平成24年度	▲0.3%	▲0.3%
平成25年度	▲1.4%	2.7%
平成26年度	0.1%	1.1%
平成27年度	3.1%	3.8%
平成28年度	1.6%	0.7%
平成29年度	1.2%	2.5%
平成30年度	0.3%	0.7%
令和元年度	0.5%	▲1.0%
令和2年度	▲6.3%	▲3.4%
令和3年度	3.9%	3.3%

[「県民経済計算(内閣府)」から]

※各年度の数値は、最新のデータにより遡って更新されることがある。

## ◇今後10年間で付加価値率（製造業）を全国平均より高い水準にする

（現状：平成23年 県27.8%、全国32.1%）

[「香川県の工業（平成23年工業（製造業）の集計結果・速報）」から]

○進捗状況：平成24年 県26.6%、全国30.6%

[「香川県の工業（平成24年工業統計調査結果）（確報）」から]

平成25年 県32.5%、全国30.9%

[「香川県の工業（平成25年工業統計調査結果）（確報）」から]

平成26年 県30.9%、全国30.2%

[「香川県の工業（平成26年工業統計調査結果）（確報）」から]

平成27年 県30.5%、全国31.3%

[「香川県の工業（平成28年経済センサス・活動調査結果の製造業の集計結果）（確報）」から]

平成28年 県30.0%、全国32.2%

[「香川県の工業（平成29年工業統計調査結果）（確報）」から]

平成29年 県31.5%、全国32.4%

[「香川県の工業（平成30年工業統計調査結果）（確報）」から]

平成30年 県29.2%、全国31.4%

[「香川県の工業（令和元年工業統計調査結果）（確報）」から]

令和元年 県30.9%、全国31.1%

[「香川県の工業（令和2年工業統計調査結果）（確報）」から]

令和2年 県27.7%、全国32.1%

[「香川県の工業（令和3年工業統計調査結果）（確報）」から]

令和3年 県28.8%、全国32.3%

[「2022年経済構造実態調査＜製造業事業所調査＞の集計結果～香川県における製造業の概要～」から]（※）

令和4年 県26.4%、全国30.2%

[「2023年経済構造実態調査＜製造業事業所調査＞の集計結果～香川県における製造業の概要～」から]（※）

（※）工業統計調査は、2022年（令和4年）調査から経済構造実態調査（国の直轄調査）に包摂され、製造業事業所調査として実施されることになった。製造業事業所調査は、個人経営を除くすべての事業所を集計しているが、工業統計調査については、国に属する事業所以外の従業者4人以上のすべての事業所を調査対象として集計しているなど、集計範囲等が異なり、単純比較できない。

## ◇海外展開企業数（貿易取引・海外進出・海外提携企業数の延べ数）を平成28年から6%増加させる

（現状：平成28年427社 → 平成34年453社）

○進捗状況：平成28年427社 → 令和4年435社（8社増、1.8%増）

[R4ジェトロ香川調査結果から]